

## 令和5年度第2回 秋田市エイジフレンドリーシティ行動計画推進委員会 議事録

日 時：令和5年11月16日（木） 午前11時～11時30分

場 所：秋田市役所5階 第3・第4委員会室

委員の定数：13人

出席委員：11人

欠席委員：2人

事務局：3人

議 事：

### 1 開会

### 2 議事

#### (1) エイジフレンドリーパートナー表彰について

資料1をもとに事務局から説明を行った。

(委員長) 続いて、選考委員会より選考結果の報告をお願いします。

(委員) 先ほどのエイジフレンドリーパートナー表彰選考委員会で、選考された事業者は、最優秀賞が株式会社北勢工業の二者、優秀賞が、株式会社境田商事と株式会社佐原組の二者、エイジフレンドリー賞が、アオヤギ眼鏡店、合同会社YYY（ヨルモカ薬局、喫茶コ）、株式会社タカヤナギグランマート泉店の三者である。

(委員長) それでは、報告のとおり令和5年度秋田市エイジフレンドリーパートナー表彰の選考について、承認してよいか。

(委員) 異議なし

(委員長) 委員の皆様のご賛同をいただきましたので、事務局は表彰決定の手続きをよろしくをお願いします。

(事務局) 本日の選考結果を受けて、この後、本市として表彰者を決定することとなるので、了承をお願いします。

#### (2) 今後の事業について

資料2をもとに、事務局から説明を行った。

(委員長) ご意見等何かあるか。

- (委員長) 報告にあったエイジの日記念講座の参加者数について、事務局の説明では、参加者が昨年度より増加としていたが、資料では減少しているようだがどうか。
- (事務局) 参加者は減少したが、パートナー事業者の参加は増えたと説明したつもりであったが、言い間違えたかもしれないので、お詫びして訂正する。
- (委員) 8月に行われた「いきいきエイジの日イベント」に参加した感想になるが、雑多ではあるが賑やかな雰囲気でも会場に入りやすかった。他のイベントで入りづらいものもあるが、このイベントは音楽なども聞こえてきて、親しみやすく入りやすかった。しかしながらアンケート回収についてはもう少し工夫を凝らし、回収率を上げたほうが良いと思う。良い意見もあるかと思うので。
- (委員) 現在開催中の「スタンプラリー」について、事務局の説明では少し低迷しているとしていたが、どういうことか。
- (事務局) 市民市場等、チラシがはける参加店もあるが、商店街で参加店主に話を伺ったところでは、今年度は通りに人が少なく、昨年ほどの盛り上がりは感じていないという感想が多かった。その原因については、「昨年発行したプレミアムクーポンを今年は発行していないから」「11月になって急激に寒くなって、人々が外出しなくなってきた」「ものの値上がりが消費に影響を与え始めているのではないか」などの声が聞かれた。  
まだ開催期間は2週間残っているので、できる限りの周知し、昨年度を超える応募を目指して周知に努めていきたい。
- (委員長) 確認だが、スタンプラリーの時期を昨年の8月から11月に変更した理由は何か。
- (事務局) 昨年は8月24日を起点にイベントを含め多くの事業をそこに集中させたが、今年度は毎月エイジ関連のイベントを行い、市民の目に触れる機会を増やす方が周知啓発に有効と考え、8月に「イベントや映画祭」、9月、10月に「エイジいきいきポイント」、11月に「エイジフレンドリーシティスタンプラリー」と連続したプロモーションを行っている。各事業の中で次に行う事業を効率的にPRできるのも利点である。
- (委員長) 9月や10月の開催も検討していたのか。

- (事務局) 9月も10月も開催を検討したが、その時期は「エイジいきいきポイント」の対象となる市主催事業が多く開催されるため、結果として「スタンプラリー」を11月開催と決めたもの。実施状況を踏まえ、来年度は開催時期を再考したい。
- (委員長) 宣伝してから、人々の記憶が新しいうちに次々と事業を続けた方がもしかしたら効果的なのかもしれない。今年は災害等もあり、その影響等もあったとは思いますが、早い時期に次々と事業を行う方が良いという印象はある。
- (委員) 連続したイベントは良いと思うが、11月になって急激に寒くなり、自分自身も、晴れの日に限った外出となったり、目的の場所以外は立ち寄らず、散策したりする機会もなくなっている。しかしスタンプラリーのことを聞いて、改めて参加店で買い物をしてスタンプラリーに参加したいと思う。
- (事務局) よろしくお願ひしたい。
- (委員長) 市民公開講座の資料を提供可能か。
- (事務局) 可能なので直接送付する。

### (3) その他

- (委員長) 次に、議事の(3)「その他」について委員から何かあるか。
- (委員) 資料の最後のページの国際会議の資料についての説明はあるか。
- (事務局) 事務局からのその他報告で言及する予定だったので、このままその他事項として説明をさせてもらう。  
資料のとおり、愛知県国際展示場で10月13日～15日に開催された国際会議で秋田市のエイジフレンドリーシティの取組について発表を行った。本市が日本で初めてエイジフレンドリーシティのグローバルネットワークに参加したことや、継続した取組が評価され、発表の依頼を受けたものである。WHOのエイジフレンドリーシティの担当者が出席したほか、当日は他の参加者との意見交換なども行われ、今後の活動につながるものとなった。また、WHOエイジフレンドリーシティ部門もそのPRには苦慮している様子が伺われ、草の根的に参加自治体を増やそうと努力しているようであった。

次に、前回の委員会が出た4つの意見に関してお伝えする。

始めに、行動計画の取組事業実績報告における「パートナー従業員数の目標値が実績値より少ない」という意見については、今後の計画策定時に再考することとしたい。

続いて、「市の【交通安全施設等整備事業】が標識や道路標示がないなどの設置状況を鑑みてのA評価だったのか」という意見については、この事業が交通安全教室教室の開催による交通安全啓発をするものであり、それに対する評価のためAとなっていたものであった。なお、標識や道路標示は、多くが警察の管轄で、秋田県警のHP上の道路標識・信号機意見箱で要望を受け付けているので情報提供する。

また、「日本の他自治体のエイジフレンドリーシティの取組との比較はどうか」についてだが、11月1日現在でエイジフレンドリーシティのグローバルネットワークに参加している国や地域は51か国、1,542都市にのぼり、日本では秋田市以外で宝塚市と神奈川県22市町が参加している。

比較に当たっては、人口構成、気候風土等が異なることから難しいが、取組単体では参考となると思われる。宝塚市は居場所づくりやエイジフレンドリーシティ認知度向上のためHP活用などの取組があり、神奈川県は積極的に発信している自治体と、そうでない自治体で差があるようだった。引き続き各都市の状況等をHP等で確認しながら、参考に出来るところは参考にしていきたい。

「市民公開講座のパネルはどこで見られるか」については、本日この会場に設置したので終了後に是非ご覧頂きたい。

ほかに連絡が2点ある。

本日選考されたパートナーの表彰式は、12月26日（火）午後2時から、研修会とともに行う予定である。

また、次回推進委員会の開催予定時期については、3月頃を予定しており、開催前に案内する。

(委員長)

ほかに無いようなので以上で議事を終了する。